

■ 事業報告 ■

資料センター開所式

一般社団法人徳島県労働福祉会館（以下、労働福祉会館）が運営する、とくしま社会運動資料センター（以下、資料センター）の開所式を、10月1日、ヒューマンわーくびあ徳島において行いました。

式典には、徳島県並びに会員団体、関係諸団体、そして貴重な資料提供をしてくださった方など、約50名の方々にお集まり頂きました。

資料センター事業は、昨年の労働福祉会館臨時総会において公益目的事業として決議され、今年4月1日から一般社団法人への移行と同時に、スタートすることとなりました。設立準備会の発足、資料収集、運営規定の作成、寄贈図書の整理、データベース化などの諸準備を経て、今日のオープンに至りました。

開所式当日は、河村和男理事長が所用により不在のため、資料センターのセンター長である久積育郎副理事長が主催者代表として挨拶を行いました[*別記]。また来賓として県労働雇用課の谷口右也課長、鳴門市賀川豊彦記念館の田辺健二館長より祝辞を頂きました。続いて資料センターの概要の説明があり、その後テープカットを行いました。



テープカットには、県労働雇用課の谷口課長、久積副理事長・センター長、鳴門市賀川豊彦記念館の田辺館長、全労済徳島県本部の川越敏良本部長が加わりました。

式典終了後は、参加者の方々を同館2Fの資料センター閲覧室、また同時開催しているパネル展会場（5F大ホール）へ案内しました。

閲覧室では、室内見学、収蔵図書の閲覧の他、DVD（『映像で見る賀川豊彦とその時代』）のミニ上映会を行いました。

[*久積副理事長・センター長の挨拶内容主旨]

おはようございます。とくしま社会運動資料センターの開所に際し、賀川豊彦記念館 田辺館長、徳島県労働雇用課 谷口課長を始め多くの方々にご参加を賜り厚く御礼申し上げます。一般社団法人徳島県労働福祉会館を代表いたしまして、開所に当たり一言ご挨拶申し上げます。

さて、社団法人労働福祉会館は、公益法人改革に伴い本年4月1日より一般社団法人として再スタートいたしました。この一般社団法人移行に際し、従来の資産は公益目的に支出するということで、公益目的支出計画を策定することとなりました。私共の労働福祉会館は労働者の砦、働く者のセンターとしての役割を担ってきました。その関係で労働運動に関する公益目的事業をと考えていましたが、戦前戦後の日本労働運動

を見てみると、紛れもなく社会全体の課題を労働運動の課題としてきた歴史があります。

労働運動が中心的役割を担った社会運動に関する資料センターを設置し、県内における様々な労働運動 社会運動の歴史を次の世代に継いでいくことが必要ではないかとの結論に至り、とくしま社会運動資料センターを設置することとなりました。

本年5月の法人総会決定に基づき、5月28日に設立準備会を発足させ、資料収集を含む準備作業に取り組み、本日の開所にいたしました。今日見えられている(社会民主党徳島県連合前代表の)寺前さんからも、多くの貴重な資料を提供頂きました。ありがとうございます。

いわゆる60年安保、70年安保世代も、それぞれ70歳後半、60歳後半となりました。その貴重な歴史と資料を後世に活かすため、資料センターが担う役割は大きいものがあると思います。日本の社会運動の偉大な先達、賀川豊彦を育んだ徳島にふさわしい県民の一大事業として発展させていきたいと決意いたしております。

本日は開所記念として、特別企画展、第1回公開講座も開催いたします。あわせてご参加いただければと思います。最後になりますが、とくしま社会運動資料センターに対する皆様方の積極的なご支援、ご協力をお願い申し上げ、開所に当たってのご挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。



特別企画『賀川豊彦と社会運動』パネル展



資料センターの開所を記念して、特別企画として『賀川豊彦と社会運動』と題したパネル展を、ヒューマンワークびあ徳島5F大ホールにて開催しました。開催期間は10月1日(水)～12日(日)までの12日間。期間中は、労働福祉会館の関係団体の他、任意団体やNPO法人の代表の方など、一般来館者を含めて、延べ120名が訪れました。パネルは『賀川豊彦記念館 展示パネルデータ 2002年3月』より代表的な写真を展示しました。また予備のパネル資材を利用して、『2012国際協同組合同年』

の周知用パネルも展示しました。

第1回公開講座

とくしま社会運動資料センターの第1回公開講座が、10月1日18:00より、ヒューマンワークびあ徳島5F大ホールにて行われ、約50名の参加者がありました。主催者挨拶は、とくしま社会運動資料センターのセンター長を務める久積副理事長が行いました[*別記]。司会は運営委員である東條恭子委員が行い、資料センターの概要についての紹介の後、講座に移りました。講師には鳴門市賀川豊彦記念館館長の田辺健二氏を招き、『賀川豊彦と協同組合主義 - 貧困を論じて宇宙の目的に及ぶ-』と題したテーマで、2時間に亘りご講演頂きました。



講演の中で、日本と世界の現状、それぞれの経済的、政治的な課題を出して頂きました。また日本は自然が資源であること、世界観や人間観が持てる市民教育が必要であることを強調され、さらには宇宙的スケールの賀川豊彦「相互扶助論」をお話し頂きました。

[*久積副理事長・センター長の挨拶内容主旨]

みなさんこんにちは！本日は大変ご多忙の中、社会運動資料センター発足記念の第1回公開講座に多くの皆様にご参加を賜り、厚く御礼申し上げます。開所に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

さて、本日10時1Fロビーにて、関係者約50名の参加により社会運動資料センターの開所式を取り行いました。その開所を記念し、本日より12日まで『賀川豊彦と社会運動』と銘打って特別企画パネル展を開催いたします。また社会運動の大先達であり、協同組合の父と言われ、わが郷土徳島が育んだ「賀川豊彦と協同組合主義」をテーマに第1回公開講座を開講することと致しました。講師はもちろん、鳴門賀川豊彦記念館の田辺館長であります。

2009年の賀川豊彦献身100年記念事業に日本各地のみならず、世界各国とも連帯し、徳島プロジェクトとして県民フォーラムの開催、『死線を越えて』の1万人上映運動など10のプロジェクト事業に取り組みました。そしてこの献身100年徳島プロジェクト事業を新たなスタートとして賀川豊彦関係団体連絡協議会を設立いたしました。以降2012年国際協同組合年の取り組みをはじめとして賀川豊彦記念館の諸事業に積極的に参加してきたところであります。

私どもは、本日社会運動資料センターの設立を機に近代日本のグランドデザイナーとしての賀川(豊彦)精神をしっかりと継承し”万人は一人のために、一人は万人のために”努力する社会、貧困と格差の無い平和な社会を目指して、少しでも貢献することができればと考えています。その記念すべき第一歩の公開講座を田辺館長にお願いできたことは私どもにとって限り無い喜びであります。本当にありがとうございます。

最後になりましたが、当センターの最大の役割は、県内における様々な労働運動、社会運動の歴史を次の世代に引き継いで行くことにあります。そのための様々な、かつ貴重な資料をしっかりと収集し、保全していきたいと思っております。皆様方の積極的な資料提供、ご協力、ご支援をお願い申し上げ、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

《運営委員会からのお知らせ》

とくしま社会運動資料センターでは、本年6月から8月にかけて、全3回の設立準備会を開催し、新規オープンに向けて準備して来ました。そして9月の労働福祉会館理事会の決議を経て、運営委員ならびに資料センターのセンター長が選任されました。

運 営 委 員

委員/センター長	久積 育郎 (公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク 理事長)
委員	田辺 健二 (鳴門市賀川豊彦記念館 館長)
〃	富永 裕史 (徳島人権・平和運動センター 議長)
〃	中野 輝行 (公益社団法人徳島地方自治研究所 常務理事)



社会運動資料1万点 徳島市でセンター開所

徳島県内で起きた労働や平和、人権など社会運動の資料を収集・公開する「とくしま社会運動資料センター」の開所式が1日、徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島で行われた。

センターは、同所2階の一室(40平方メートル)に設けられ、労働運動や平和活動の書籍、新聞、ビデオなど1万点以上を所蔵。資料目録はデータベース化され、センター内のパソコンで検索できる。開所時間は、月曜と祝日、お盆、年末年始を除く午前10時〜午後3時。開所式には県や労働組合、平和団体などから約50人が出席。久積育郎センター長が「社会運動の記録を次の世代につないでいきたい」とあいさつし、テープカットをした。

この日は公開講座があり、鳴門市賀川豊彦記念館の田辺健二館長が講演。5階ホールでは、賀川豊彦の活動の足跡を紹介するパネル展が12日まで開かれている。(新居和人)

開所式の後、センターを見学する関係者—徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島

2014. 10. 02 徳島新聞

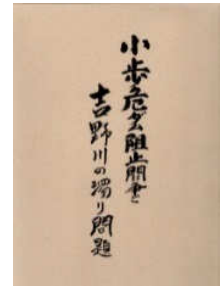
- // 森本 佳広（日本労働組合総連合会徳島県連合会 事務局長）
- // 川越 敏良（全労済徳島県本部 本部長）
- // 林 善章（公益社団法人徳島県労働者福祉協議会 専務理事）
- // 辻 博史（一般社団法人徳島県就職支援機構 理事長）
- // 乾 晴美（元参議院議員／AWA女性研究所 代表）
- // 東條 恭子（ストップ・DVサポートの会 代表）

///おススメの書籍///

書籍名 小歩危ダム阻止闘争と吉野川の濁り問題

出版 [小歩危ダム阻止闘争と吉野川の濁り問題]編集委員会

【書評】1950年のダム建設計画発表から、71年に計画中止が決定されるまでを年次を追って記述。住民の反対運動を受けて計画が中止に向けて大きく動いた当時の状況を、県議会や地元町村議会の議事録、徳島新聞の記事を参考にまとめた。早明浦ダムの完成に伴う吉野川の濁り問題にもページを割いた。[徳島新聞Webより引用]



■告知・案内■

◎第2回公開講座の開催予定

日時 2015年2月28日(土)10:00～12:00

場所 ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホール

参加 一般の方誰でも

内容 『連続講座 阿波女の輝き-20年史-(仮題)』

講師 乾 晴美 (元参議院議員／AWA女性研究所 代表)

◎研究会メンバーの募集




とくしま社会運動資料センターでは、徳島における社会運動に関する研究会を開催します。参加資格は問いません。興味のある方は、ぜひご参加ください。

募集要項、開催案内につきましては、詳細が決まり次第、ご案内いたします。

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★
徳島における社会運動・労働運動に関する資料や書籍、また労働組合や会社の周年記念史、会報誌などをお持ちの方で、センターに寄贈したいとお考えの方がいらっしゃいましたら、ぜひセンター事務局までご一報いただきますよう、お願いいたします。

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

《《 閲覧室の利用案内 》》

◎閲覧コーナー	◎検索コーナー	◎視聴コーナー
		
書籍、雑誌など約10,000冊の所蔵のうち約1,200冊を閲覧用として書架に並べています。	国立国会図書館サーチで検索したり、また電子書籍の閲覧などにも利用できます。	所蔵DVDの視聴などに利用できます。

※詳細はリーフレット『ご利用のしおり』をご覧ください。

一般社団法人徳島県労働福祉会館 とくしま社会運動資料センター事務局

〒770-0942 徳島市昭和町 3 丁目 35-1 / TEL 088-602-0532 / FAX 088-625-5005 / メール roukan@workpia-tokushima.jp

URL <http://workpia-tokushima.jp/> (旧 URL <http://www4.ocn.ne.jp/~roukan/hp/> より、変更しました)